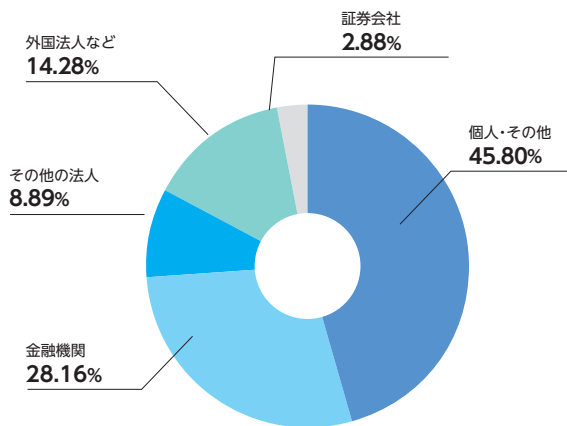


会社の概況 (2021年9月30日現在)

商号 株式会社北川鉄工所 (英文名:Kitagawa Corporation)
本店所在地 広島県府中市元町77-1
設立 1941年11月28日
資本金 86億4千万円
従業員数 1,450名
事業内容 金属素形材事業、産業機械事業、工作機器事業

株式の所有者別状況

発行可能株式総数 普通株式 30,800,000株
発行済株式の総数 普通株式 9,650,803株
株主総数 9,712名
株式の所有者別状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日
配当金受領株主確定日 中間配当 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社

特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
みずほ証券株式会社

お問合せ先 〒168-8507
東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324(通話料無料)
※土・日・祝日を除く9:00～17:00

公告方法 当社ホームページにて電子公告しますが、やむをえない事由によって電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。

役員

役職	氏名
代表取締役会長兼社長	北川 祐治
代表取締役副会長	北川 宏
取締役 常務執行役員	北川日出夫
取締役 常務執行役員	畑島 敏勝
取締役 常務執行役員	栗本 和昌
取締役 執行役員	佐藤 靖
取締役 執行役員	近藤 正樹
取締役 執行役員	藤本 一
取締役 執行役員	門田 廣夫
取締役 執行役員	北川 和紀
取締役(社外取締役)	内田 雅敏
取締役(社外取締役)	西川三佐子
常勤監査役	野上 武志
監査役(社外監査役)	貝原 潤司
監査役(社外監査役)	平 浩介

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,098	11.73
北川鉄工所みのり会	600	6.41
株式会社広島銀行	446	4.76
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	392	4.20
みずほ信託銀行株式会社	230	2.46
北川鉄工所自社株投資会	218	2.33
MSIP CLIENT SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタンレー・MUFG証券株式会社)	205	2.19
朝日生命保険相互会社	171	1.83
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	169	1.81
損害保険ジャパン株式会社	162	1.73

(注) 1 当社は自己株式(289,255株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2 持株比率は自己株式(289,255株)を控除して計算しております。

住所・氏名の変更、配当金の受領方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増請求等の手続きのご案内

株主様が口座を開設されている証券会社にお申出ください。なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行(左記のお問合せ先)にお申出ください。みずほ信託銀行国内本支店(トラストラウンジを除く)またはみずほ証券国内本支店(プラネットブースを含む)においてもお取扱いたします。

未払配当金の支払いに関するお問合せ先

みずほ信託銀行国内本支店にてお支払いいたします。また、みずほ証券国内本支店にてお取次ぎのみ可能です。

特別口座をご利用の株主様へ

特別口座に記録されている株式は、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買ができません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。お手続きについては、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行(左記のお問合せ先)にお問合せください。

インターネット上で、いつでも最新のkitagawa情報をご覧いただけます

[https:// www.kiw.co.jp /](https://www.kiw.co.jp/)



株主通信

第112期 中間事業報告

2021年4月1日から2021年9月30日まで



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜わり、厚くお礼申しあげます。当社グループは2021年9月30日をもって第112期中間期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)が終了いたしましたので、当該期間の事業概況についてご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が普及し、経済回復の力強さは増していますが、半導体不足に加えて自動車部品の供給不足による自動車の減産、材料価格の高騰など、今後の経済回復は依然として不透明であります。また、わが国の経済につきましても、回復基調で推移しましたが、8月には国内の新型コロナウイルス感染症の感染者数が過去最多を記録し、先行きの見通せない状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループでは、各事業分野に

おいて、生産性の向上や積極的な営業展開など、収益力の改善・強化に取り組み、事業を推進してまいりました。

当中間期の配当につきましては、1株につき25円とさせていただきます。

当社グループは2021年11月28日に設立80周年を迎えます。今後もより一層、みなさまのご期待に添えますよう全社一丸となって努力を続けてまいります。

株主のみなさまには引き続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末永くご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

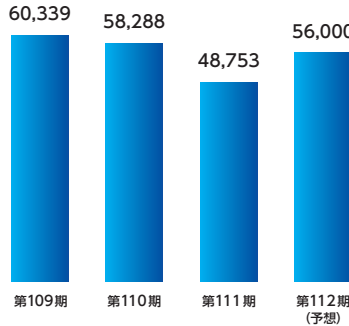


代表取締役会長兼社長 北川 祐治

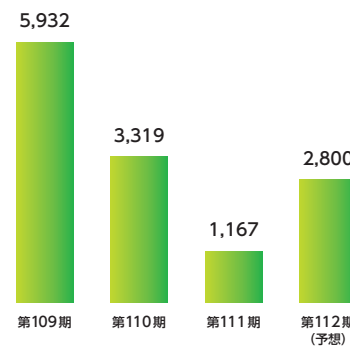


連結決算ハイライト

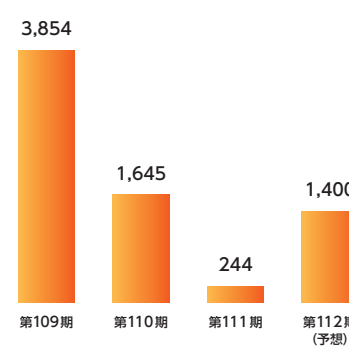
連結売上高 (百万円)



連結経常利益 (百万円)



連結当期純利益 (百万円)





第2四半期 セグメント別の概況

■ キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー

国内外の生産拠点間の連携強化、自動化による生産性改善など収益力の向上に取り組むとともに、脱炭素社会移行に伴う事業機会、リスクの洗い出し、付加価値の高い材質開発など、事業課題の解決に向けた検討を行ってまいりました。また、メキシコ子会社では、自動車の次期モデルに搭載される部品の量産に向けて準備を進め、タイ子会社では生産アイテムの見直しによる収益改善に注力いたしました。

自動車部品の売上は計画を下回る結果となったものの、農業機械・建設機械部品の売上につきましては新型コロナウイルス感染症の流行前の実績を上回る結果となりました。

単位：百万円	
売上高	営業利益
13,482	125
前年同期 9,474	前年同期 -1,207

■ キタガワ サン テック カンパニー

コンクリートプラント事業では、新商品の販売拡大や既存商品の品質向上に努めました。荷役機械関連事業では、新規市場の開拓を進めるとともに生産工場を再編するための甲山工場建屋増築が完工し、効率的な生産体制の構築による収益性の向上に注力してまいりました。自走式立体駐車場事業ではスーパーロングスパンタイプ立体駐車場の市場認知度の向上を図ってまいりました。

これらの取り組みを進めたことにより、コンクリートプラント事業はメンテナンス工事を含め売上が前年同四半期比で増加となりました。また、自走式立体駐車場事業も景気後退の影響が厳しい状況ではありますが、売上の谷間から脱したことなどが影響し前年同四半期比で売上は増加しました。

単位：百万円	
売上高	営業利益
9,126	847
前年同期 8,721	前年同期 686

■ キタガワ グローバル ハンド カンパニー

パワーチャックの高付加価値商品であるBRシリーズの生産性向上及び販売拡大に注力しました。また、ホームページ上にウェブショールームを開設し、最新の商品情報や技術情報の発信に努めました。さらに、ロボット分野などの新たな市場領域に参入するために、システムインテグレータやロボットメーカーに対して積極的にアプローチを行なってまいりました。

これらの取り組みを進めたことにより、パワーチャックBRシリーズの売上が前年同四半期比で大幅に増加しました。また、シリンダ及びNC円テーブルの売上につきましても、市場回復により、欧米市場を中心に売上が前年同四半期比で大幅に増加しました。



トピックス

■ マルチロータ型UAV※を開発 ※UAV：ドローンとも呼ばれる無人航空機の略称

開発本部UAV開発室ではマルチロータ型UAVの開発を進めております。自動飛行・自動離着陸に成功し、現在実証試験に向けて調整を進めている段階です。自動飛行を実現するフライトコントローラは海外製が多くを占めるなか、当社で独自に開発したものです。次のステップとしてUAVを使った上空からのデータ収集用途の開発を進めます。これまで簡単に得られなかった情報を効率よく集めるしくみをつくり、産業や生活の役に立つUAVシステムの開発を進めてまいります。

また、JAXA発ベンチャーの武蔵スカイプラス株式会社と新たな無人航空機への取り組みを開始しております。

■ ウェブショールームを開設

キタガワ グローバル ハンド カンパニーでは、お客様に対してウェブを利用し最新の商品情報や技術情報を積極的に提供することを目的として当社ホームページ上に「kitagawa WEB SHOWROOM」を開設いたしました。

お客様が一般的に必要なとされる商品の技術情報（アクセサリ、メンテナンス、使い方など）を掲示している「技術情報総合窓口」、新商品や注目商品の展示コーナー、動画コーナーをご用意しております。

今後もお客様が必要とされる情報や営業活動をサポートするコンテンツを順次追加してまいります。



kitagawa WEB SHOWROOM

■ 立体駐車場 新商品「スーパーロングスパンタイプ」のご紹介

キタガワ サン テック カンパニーでは、駐車フロアを無柱空間としたスーパーロングスパンタイプの自走式立体駐車場を開発いたしました。従来の駐車場では、駐車した車の横に柱があり、ドアの開閉や降車した後の移動がしづらいという難点がありました。単純に車横の柱を無くすことで、これらの問題を改善することは可能でしたが、使用する材料が大きくなり、大幅なコストUPとなるため、今まで事例は多くありませんでした。今回、当社ではブレース構造とラーメン構造をバランス良く組み合わせることで、大幅にコストUPすることなくスーパーロングスパンタイプを実現しております。

また、他社との差別化を図るため、特許の出願も行なっております。

これらのメリットをお客様にご理解いただけるように、積極的に営業活動を行い、更なる受注を目指します。



スーパーロングスパンタイプ立体駐車場